

蛍光法によるクロロフィルa濃度測定の研究機関間比較

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): クロロフィル a; 蛍光法; 植物プランクトン; 植物色素 キーワード (En): 作成者: 児玉, 武稔, 小埜, 恒夫, 葛西, 広海, 清本, 容子, 桑田, 晃 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010588

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



蛍光法によるクロロフィル *a* 濃度測定の実験所間比較

児玉武裕・小笠恒夫・葛西広海・清水容子・桑田 晃

蛍光法で測定されたクロロフィル *a* (Chl *a*) 濃度が含有する誤差を水産研究・教育機構の 5 庁舎間の相互比較から検証した。Chl *a* 標準物質の希釈液 5 種について、合計 6 つの蛍光光度計で測定を行い比較した。その結果、濃度に対する変動係数は 9.1~10.2% となり、1 つの蛍光光度計による繰り返し測定の変動係数 (3.2%) よりも高く、庁舎ごとに異なる校正過程によって違いが生じたと考えられた。この変動係数は既往知見と同程度かそれ以下で、人工衛星や現場型蛍光光度計のそれよりも低いことから、本機構で蛍光法によって測定された Chl *a* 濃度データの信頼性は高いものの、変動係数にして 10% 程度のばらつきを含むデータとして取り扱う必要がある。